資料３－１

男女共同参画に関する市民意識調査票　新旧対照表

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
基本属性		基本属性	
	性別（男性，女性，男性女性以外の性）		性別（男性，女性，男性女性以外の性）
	年齢（5歳刻み）		年齢（5歳刻み）
	世帯構成（単身，一世代，二世代，三世代，その他）		世帯構成（単身，一世代，二世代，三世代，その他）
	婚姻の状況（結婚している，離別・死別，未婚）		婚姻の状況（結婚している，離別・死別，未婚）
	就労状況（共働き，自分のみ，パートナーのみ，どちらも未就労）		就労状況（共働き，自分のみ，パートナーのみ，どちらも未就労）
	子の有無と末子の年齢		子の有無と末子の年齢
	職業（農林漁業，商工・サービス業，自由業，経営・管理職，　専門・技術職，事務職，販売・サービス業，生産・輸送・建設・労務職，その他（勤め人），学生，家事専業，無職，その他）		職業（農林漁業，商工・サービス業，自由業，経営・管理職，　専門・技術職，事務職，販売・サービス業，生産・輸送・建設・労務職，その他（勤め人），学生，家事専業，無職，その他）
	就業形態（役員，正規の職員・従業員，非正規の職員・従業員（契約社員，労働者派遣事務所の派遣社員を含む））		就業形態（役員，正規の職員・従業員，非正規の職員・従業員（契約社員，労働者派遣事務所の派遣社員を含む））
１　男女共同参画全般について		１　男女共同参画全般について	
※男女共同参画に関する認知度		**※男女共同参画に関する認知度**	
問１	あなたが男女共同参画に関する次の(1)～(8)の言葉について，聞いたことがありますか。	問１	あなたが男女共同参画に関する次の(1)～(8)の言葉について，聞いたことがありますか。
(1)	男女共同参画	(1)	男女共同参画
(2)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	(2)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
(3)	ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）	(3)	ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）
(4)	デートＤＶ	(4)	デートＤＶ
(5)	ハラスメント（セクシュアル，マタニティ，パタニティ等）	(5)	セクシュアル・ハラスメント
		(6)	マタニティ・ハラスメント
		(7)	パタニティ・ハラスメント
(6)	性的少数者（LGBTQ）	(8)	性的少数者
(7)	ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）		
(8)	アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）		
※男女平等に関する意識		※男女平等に関する意識	
問2	あなたは，次の（1）～（8）の分野で男女は平等になっていると思いますか。 ※項目ごとに６つの選択肢から回答	問２	あなたは，次の（1）～（8）の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(1)	家庭生活	(1)	家庭生活
(2)	職場や就職活動	(2)	職場や就職活動
(3)	学校教育	(3)	学校教育
(4)	自治会やＰＴＡ等の地域活動	(4)	自治会やＰＴＡ等の地域活動
(5)	法律や制度	(5)	法律や制度
(6)	政治の場	(6)	政治の場
(7)	社会通念・慣習・しきたりなど	(7)	社会通念・慣習・しきたりなど
(8)	社会全体	(8)	社会全体

市民意識調査【R8】（案）	市民意識調査【R3】
※性別役割分担に関する意識	**※性別役割分担に関する意識**
問3　「男は仕事，女は家庭」という考えがありますが，あなたはどう思いますか。（１つ選択）	問３　「男は仕事，女は家庭」という考えがありますが，あなたはどう思いますか。
問4　あなたは，政治や会社などにおいて，政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について，どのように考えますか。（○は３つまで）	
(1)　男性優位の組織運営になっているから	
(2)　性別による男女の役割分担意識が強いから	
(3)　家庭内での役割（家事・育児・介護など）の分担が偏っているから。	
(4)　上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないから	女性リーダーが少ない理由を探るための要因分析に必要な項目について調査する。札幌市，旭川市の調査を参考に設定。
(5)　育児・介護に関する公的サービスが不十分だから	
(6)　ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが不十分だから	
(7)　男性の家事・育児参加を進めるための後押しが不十分だから	
(8)　女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから	
(9)　現時点では，必要な知識や経験を持つ女性が少ないから	
(10)　キャリア形成支援が不十分だから	
(11)　企業などにおいては，管理職になると広域 異動が増えるから	
(12)　特に理由はない	
(13)　その他（　　）※自由記載	
※家事へのかかわり度	**※家事へのかかわり度**
問5　あなたは，家庭内で次の(1)～(7)にあげる事項についてどの程度たずさわっていますか。 ※事項ごとに４つの選択肢から選択）	問４　あなたは，家庭内で次の(1)～(7)にあげる事項についてどの程度たずさわっていますか。
(1)　掃除	(1)　掃除
(2)　洗濯	(2)　洗濯
(3)　食事の支度	(3)　食事の支度
(4)　食事の後片付け	(4)　食事の後片付け
(5)　育児	(5)　育児
(6)　介護	(6)　介護
(7)　ゴミ出し	(7)　ゴミ出し
	※子どもの性別役割分担に関する意識
前回調査において，性別を意識せずに育てるのが良い旨の回答が集中しているため削除する。 【参考】 (1)賛成　約90% (2)反対　約90% (3)賛成　約90% (4)反対　約90% (5)賛成　約80% (6)反対+どちらともいえない　約80%	~~問5　あなたは子育てについて次の(1)～(6)にあげる考えを，どのように思いますか。~~
	~~(1)　男の子も女の子もどちらも家事ができるように育てた方がよい~~
	~~(2)　女の子は家事ができるように育てた方がよいが，男の子には必要ない~~
	~~(3)　男の子も女の子もどちらも経済的に自立できるように育てた方がよい~~
	~~(4)　男の子は経済的に自立できるように育てた方がよいが，女の子には必要ない~~
	~~(5)　性別による役割を固定せず区別なく育てた方がよい~~
	~~(6)　性別を意識して育てた方がよい~~

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
※家庭内における介護の分担に関する意識		**※家庭内における介護の分担に関する意識**	
問6	高齢者の介護をする場合の家庭内での分担について，あなたはどう考えますか。 ※５つの選択肢から１つ選択	問６	高齢者の介護をする場合の家庭内での分担について，あなたはどう考えますか。
※仕事と家庭についての男性についての意識		**※仕事と家庭についての男性についての意識**	
問7	男性が，家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。 ※いくつでも選択	問~~7~~	~~仕事と家庭についての男性の考え方として，あなたが望ましいと思うのは，どのような考え方ですか。~~
(1)	男性が家事などに参加することについて男性自身の抵抗感をなくす		~~1 家事・育児や地域活動は妻に任せ，仕事に専念する~~
(2)	男性が家事などに参加することについて女性の抵抗感をなくす		~~2 家事・育児や地域活動を妻と分かち合い，仕事と家庭を両立させる~~
(3)	家事などに参加することについての社会的評価を高める		~~3 仕事は妻に任せ，家事・育児や地域活動に専念する~~
(4)	性別に関わらず家事などに参加する意識を持たせるような教育をする		~~4 その他~~
(5)	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る		
(6)	家事などに参加することについて，職場における上司や周囲の理解を進める	前回調査において，「家事・育児や地域活動を妻と分かち合い，仕事と家庭を両立させる」に回答が集中（約88%）していたため，男性が家事・育児・介護に参加していくために必要なことを問う設問に変更する。国，札幌市，旭川市の調査を参考に設定。	
(7)	仕事中心の生き方，考え方を改める		
(8)	労働時間短縮や休暇制度を充実させ，利用を促進する		
(9)	家事などについての関心を高めるよう啓発や情報提供を行う		
(10)	行政機関が講座等を開催し，男性の家事などの技能を高める		
(11)	仕事と生活の両立等の問題について，男性が相談しやすい窓口を設ける		
(12)	特に必要なことはない		
問8	男性の育児休業や介護休業についてどう思いますか。※１つだけ選択	男性の育休取得に対する意識を調査するため設問を追加する。札幌市，旭川市の調査を参考に設定。	
(1)	男性も積極的に取得すべき		
(2)	男性の取得は賛成だが，現実的には厳しいと思う		
(3)	他に育児・介護を担うものがいない場合は，取得もやむを得ない		
(4)	男性は育児・介護休暇を取得する必要がない，取得すべきではない		
※女性が仕事を持つことについての意識		**※女性が仕事を持つことについての意識**	
問9	女性が仕事をもつことについて，あなたはどう思いますか。　※１つだけ選択	問８	女性が仕事をもつことについて，あなたはどう思いますか。
(1)	結婚や出産に関わらず，仕事を続けた方がよいと思う	(1)	結婚や出産にこだわらず，仕事を続けた方がよいと思う
(2)	結婚や出産後は仕事を辞め，育児が一段落した後，再び仕事に就く方がよいと思う	(2)	結婚や出産後は仕事を辞め，育児が一段落した後，再び仕事に就く方がよいと思う
(3)	結婚を機に仕事を辞め，家事・育児に専念した方がよいと思う	(3)	結婚を機に仕事を辞め，家事・育児に専念した方がよいと思う
(4)	女性は仕事に就かない方がよいと思う	(4)	女性は仕事に就かない方がよいと思う
(5)	その他	(5)	その他

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
※女性が仕事を続ける上での支障		**※女性が仕事を続ける上での支障**	
問10	女性が仕事を続けていく上で，支障となっているものは何だと思いますか。　※３つまで選択	問９	女性が仕事を続けていく上で，支障となっているものは何だと思いますか。
(1)	家事・育児・介護との両立が難しい	(1)	家事・育児・介護との両立が難しい
(2)	家庭内での家事・育児・介護への負担の偏り	(2)	家事・育児・介護への家族の協力が不十分
(3)	保育施設や老人福祉施設，介護サービスが利用しにくい	(3)	保育施設や老人福祉施設，介護サービスが利用しにくい
(4)	結婚や出産を契機として退職する慣行がある	(4)	結婚や出産を契機として退職する慣行がある
(5)	家族の理解が得られない	(5)	家族の理解が得られない
(6)	「男は仕事，女は家庭」という社会通念がある	(6)	「男は仕事，女は家庭」という社会通念がある
(7)	昇進・昇格・給与に男女格差がある	(7)	昇進・昇格・給与に男女格差がある
(8)	転勤や長時間労働がある	(8)	転勤や長時間労働がある
(9)	中高年の女性に対し退職の圧力がある	(9)	中高年の女性に対し退職の圧力がある
(10)	支障になることは特にない	(10)	支障になることは特にない
(11)	その他	(11)	その他
※女性が働き続けるために必要なこと		**※女性が働き続けるために必要なこと**	
問11	女性が働き続けるためには，今後どのようなことが必要だと思いますか。　※３つまで選択	問１０	女性が働き続けるためには，今後どのようなことが必要だと思いますか。
(1)	保育施設などの子育て支援サービスや福祉施設などの介護サービスの充実	(1)	保育施設などの子育て支援サービスや福祉施設などの介護サービスの充実
(2)	男性の家事・育児などへの参加	(2)	男性の家事・育児などへの参加
(3)	働き続けることへの女性自身の意識改革	(3)	働き続けることへの女性自身の意識改革
(4)	女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	(4)	女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
(5)	労働条件の改善（昇進・昇格等）	(5)	労働条件の改善（昇進・昇格等）
(6)	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	(6)	職場における育児・介護との両立支援制度の充実
(7)	職場における長時間労働の改善を含めた働き方改革	(7)	職場における長時間労働の改善を含めた働き方改革
(8)	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	(8)	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
(9)	結婚，出産退職後の再雇用制度の充実	(9)	結婚，出産退職後の再雇用制度の充実
(10)	その他	(10)	その他
※昇格の希望			
問12	あなたは，現在，または将来，管理職（課長相当職以上）への昇格を希望しますか。		
(1)	希望する		
(2)	希望しない		
(3)	すでに管理職である		
(4)	わからない		
問13	「(2)希望しない」と回答した方にお聞きします。 希望しない理由は何ですか。 ※いくつでも選択		
(1)	責任が重いから		
(2)	仕事量が増えるから		
(3)	家庭や育児，介護との両立が難しいから		
(4)	自分には向いていないと思うから		
(5)	管理職の仕事に魅力を感じないから		
(6)	勤務時間や働き方の制約があるから		
(7)	その他（　　）		
※ワーク・ライフ・バランスについての意識		**※ワーク・ライフ・バランスについての意識**	
問14	あなたは「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると思いますか。　※１つだけ選択	問１１	あなたは「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると思いますか。

管理職への志向を調査するため設問を追加する。
さいたま市の調査を参考に設定。

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
問15	「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていない理由は何だと思いますか。　※３つまで選択	問１２	「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていない理由は何だと思いますか。
(1)	長時間労働であるため	(1)	長時間労働であるため
(2)	職場の理解がないため	(2)	職場の理解がないため
(3)	職場に人的な余裕がないため	(3)	職場に人的な余裕がないため
(4)	「男は仕事，女は家庭」といった考え方があるため	(4)	「男は仕事，女は家庭」といった考え方があるため
(5)	その他	(5)	その他
※人権尊重に関する意識		**※人権尊重に関する意識**	
		問１３	~~あなたが，人権が尊重されていないと感じるのは，どのような場合だと思いますか。~~
		~~(1)~~	~~家庭内での配偶者やパートナーからの暴力~~
		~~(2)~~	~~セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）~~
		~~(3)~~	~~痴漢などのわいせつ行為~~
		~~(4)~~	~~売春・買春・援助交際~~
		~~(5)~~	~~ストーカー行為~~
	後の設問との重複があり，回答者が負担を感じやすいこと，また，質問数が多いことによる回答者の離脱を防ぐため，本質問は削除する。	~~(6)~~	~~風俗営業における就労~~
		~~(7)~~	~~女性の体の一部やヌード写真などを内容に関係なく使用した広告など~~
		~~(8)~~	~~容貌を競うコンテスト~~
		~~(9)~~	~~「女医」「女流作家」のように女性だけに用いられる言葉~~
		~~(10)~~	~~特にない~~
		~~(11)~~	~~その他~~
※ＤＶ，ハラスメントの経験		**※ＤＶ，ハラスメントの経験**	
問16	あなたは，次のようなことが配偶者や恋人から行われた場合，DV,ハラスメントだと思いますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。　※いくつでも選択	問１４	~~あなたはこれまでに，あなたの配偶者やパートナーまたは交際相手について，次のようなことを経験したことがありますか。~~
(1)	平手で打つ，足で蹴る	~~(1)~~	~~何を言っても無視され続ける~~
(2)	身体を傷付ける可能性のある物などで殴る	~~(2)~~	~~「誰のおかげで，おまえは生活できるんだ」とか「甲斐性なし」などの暴言を言われる~~
(3)	殴るふりをして脅す	~~(3)~~	~~大声で怒鳴られる~~
(4)	刃物などを突き付けて脅す	~~(4)~~	~~メールや電話を細かく監視される~~
(5)	相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する	~~(5)~~	~~押したり，つかんだり，つねったり，こづいたりされる~~
(6)	妊娠・避妊・中絶を一方的に強要したり禁じる	~~(6)~~	~~見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる~~
(7)	性的な画像・動画・雑誌などを見ることを強要する	~~(7)~~	~~医療機関の治療が必要となる暴力を受ける~~
(8)	何を言っても長時間無視し続ける，口をきかない	~~(8)~~	~~嫌がっているのに性的な行為を強要される~~
(9)	交友関係・外出・携帯電話・SNSなどを細かく監視したり制限する	~~(9)~~	~~生活費を渡されない~~
(10)	「バカ」「役立たず」など人格を否定するようなことを言う	~~(10)~~	~~上記のことを配偶者やパートナー，交際相手にしたことがある~~
(11)	大声でどなる	~~(11)~~	~~経験したことはない~~
(12)	生活費を渡さない，または使途を細かく管理して自由に使えないようにする	~~(12)~~	~~その他~~
右欄の質問は，後の設問と類似していることや，ＤＶやハラスメントを直接経験した人は限定的で対象者が少ないことから，ＤＶやハラスメントの認識に係る意識を問う左欄の質問に変更する。 新たな質問では，ＤＶやＤＶにつながる行為に対する認識を調査する。札幌市，旭川市の調査を参考に設定。			

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
問17	DV や性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などについて，あなたが知っているものをあげてください。　※いくつでも選択		
(1)	函館市配偶者暴力相談支援センター（子ども未来部子育て支援課）		
(2)	ウィメンズネット函館（DV・女性・性暴力相談）	相談窓口の認知度を測定するため，新規設定する。 札幌市，旭川市の調査を参考に設定。	
(3)	函館市女性センター（DV・虐待・離婚相談）		
(4)	市民相談（市民部くらし安心課）		
(5)	法テラス（弁護士相談）		
(6)	配偶者暴力相談支援センター（北海道渡島総合振興局）		
(7)	警察（函館方面本部警察相談センター）		
(8)	みんなの人権110番（函館地方法務局）		
(9)	函館被害者相談室		
(10)	函館家庭生活カウンセラークラブ		
※ＤＶ等の経験		**※ＤＶ等の経験**	
問18	ＤＶやデートＤＶについて，あなたは直接経験したり身近で見聞きしたことがありますか。　※項目ごとに１つずつ選択	問１５	ＤＶやデートＤＶについて，あなたは直接経験したり身近で見聞きしたことがありますか。
1	自分自身について	(1)	自分自身について
2	自分以外の人について	(2)	自分以外の人について
※ＤＶ等の相談先		**※ＤＶ等の相談先**	
問19	あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。 ※いくつでも選択	問１６	あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。
(1)	知人・友人	(1)	知人・友人
(2)	親族	(2)	親族
(3)	行政の相談機関	(3)	行政の相談機関
(4)	民間の相談機関	(4)	民間の相談機関
(5)	警察	(5)	警察
(6)	弁護士	(6)	弁護士
(7)	医師	(7)	医師
(8)	学校関係	(8)	学校関係
(9)	相談しなかった	(9)	相談しなかった
(10)	その他（　　）※自由記述	(10)	その他
※ＤＶ等を相談しなかった理由		**※ＤＶ等を相談しなかった理由**	
問20	相談しなかった，できなかった理由は何ですか。 ※いくつでも選択	問１７	相談しなかった，できなかった理由は何ですか。
(1)	相談するほどのことでもなかったから	(1)	相談するほどのことでもなかったから
(2)	自分にも悪いところがあると思ったから	(2)	自分にも悪いところがあると思ったから
(3)	相談しても無駄だと思ったから	(3)	相談しても無駄だと思ったから
(4)	自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから	(4)	自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから
(5)	他人を巻き込みたくなかったから	(5)	他人を巻き込みたくなかったから
(6)	恥ずかしかったから	(6)	恥ずかしかったから
(7)	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	(7)	相手の行為は愛情の表現だと思ったから
(8)	誰に相談したらよいかわからなかったから	(8)	誰に相談したらよいかわからなかったから
(9)	相談すると仕返しをされると思ったから	(9)	相談すると仕返しをされると思ったから
(10)	世間体が悪いから	(10)	世間体が悪いから
(11)	その他（　　）※自由記述	(11)	その他

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
問21	あなたはこれまで，ハラスメント（セクシュアル，妊娠・出産・育児休業等，パワー）を直接経験したり，身近で見聞きしたことがありますか。 ※項目ごとに2つの選択肢から1つ選択	問１８	あなたはこれまで，(1)～(3)のハラスメントを直接経験したり，身近で見聞きしたことがありますか。
国においても用語の使用が変化してきていることから，ハラスメントとして統一して問う設問とする。		~~(1)~~	~~セクシュアル・ハラスメント~~
		~~(2)~~	~~マタニティ・ハラスメント~~
		~~(3)~~	~~パタニティ・ハラスメント~~
問22	あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。 ※いくつでも選択	問１９	あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。
(1)	知人・友人	(1)	知人・友人
(2)	親族	(2)	親族
(3)	行政の相談機関	(3)	行政の相談機関
(4)	民間の相談機関	(4)	民間の相談機関
(5)	職場の相談窓口		
(6)	警察	(5)	警察
(7)	弁護士	(6)	弁護士
(8)	相談しなかった	(7)	相談しなかった
(9)	その他	(8)	その他
問23	DV・性暴力・ハラスメントの防止のためには，どのような対策が必要だと考えますか。※いくつでも選択	問２０	ハラスメントの防止のためには，どのような対策が必要だと考えますか。
(1)	法律制度の強化	(1)	法律制度の強化
(2)	相談機関の充実	(2)	相談機関の充実
(3)	職場の雇用主等の積極的な防止対策	(3)	職場の雇用主等の積極的な防止対策
(4)	ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実	(4)	ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実
(5)	加害者に対するカウンセリングの実施	(5)	加害者に対するカウンセリングの実施
(6)	その他	(6)	その他
問24	現在の社会は，性的少数者の方々にとって，暮らしやすい社会だと思いますか。　※６つの選択肢から1つ選択	問２１	現在，性的少数者の方々にとって，偏見や差別などにより，生活しづらい社会だと思いますか。
問25	性的少数者の方々がより自分らしく暮らせる社会にするために，どのような取り組みが必要だと思いますか。 ※3つまで選択	問２２	性的少数者の方々に対する偏見や差別をなくし，性的少数者の方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。
(1)	行政が市民等へ性的少数者への理解の促進のための周知啓発を行うこと	(1)	行政が市民等へ性的少数者への理解の促進のための周知啓発を行うこと
(2)	性別にかかわりなく利用できるトイレなどの設備の充実	(2)	性別にかかわりなく利用できる「だれでもトイレ」の設置
(3)	申請書等様式における性別記載欄の削除等見直し	(3)	申請書等様式における性別記載欄の削除等見直し
(4)	学校等の制服について，スカートかズボンかなどを性別に関わらず，選択できるようにすること	(4)	学校の制服について，スカートかズボンかなどを性別に関わらず，生徒が選択できるようにすること
(5)	パートナーシップ制度の導入	(5)	パートナーシップ制度の導入
(6)	相談窓口等の充実と周知	(6)	相談窓口等の充実と周知
(7)	だれもが働きやすい職場環境づくりの取り組みをすること	(7)	だれもが働きやすい職場環境づくりの取り組みをすること
(8)	行政職員や学校教員への性の多様性に関する研修等を行うこと	(8)	行政職員や学校教員への性の多様性に関する研修等を行うこと
(9)	わからない	(9)	わからない
(10)	その他	(10)	その他

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】
3　地域活動について		
問26	現在も含めて今までに，あなたは地域でどのような活動に参加したことがありますか。　※いくつでも選択	女性の社会活動や地域貢献に関する現状・課題・支援ニーズを把握するため，新規設定する。札幌市の調査を参考に設定。
(1)	自治会や町内会の活動	
(2)	ＰＴＡ活動や青少年指導員等の青少年健全育成活動	
(3)	社会福祉活動	
(4)	防災・防犯活動	
(5)	女性会などの地域団体での活動	
(6)	その他の地域活動	
(7)	地域の公的な委員活動（例：保護司，民生委員・児童委員，人権擁護委員，行政相談委員など）	
(8)	地域活動に参加したことがない	
問27	あなたが参加・活動しなかった理由は何ですか。 ※３つまで選択	
(1)	時間がない	
(2)	情報が届かない，募集がわからない	
(3)	自分には向いていない／関心がない	
(4)	体力・健康上の問題	
(5)	報酬や補償がない	
(6)	職場や家族の理解が得られない	
(7)	活動内の閉鎖性・人間関係の問題	
(8)	夜間活動が多く参加しにくい	
(9)	男性中心で入りにくい	
問28	あなたは，地域活動や社会貢献活動に参加しやすくなるために，特に重要だと思う支援は何ですか。 ※３つまで選択	
(1)	活動中の子どもの一時預かりサービス	
(2)	活動に関する情報提供の充実（SNS，広報等）	
(3)	平日夜間・休日など参加しやすい時間帯の活動	
(4)	オンラインでも参加できる環境の整備	
(5)	活動団体への参加をコーディネートする窓口の設置	
(6)	活動参加者への経済的支援（交通費・謝礼等）	
(7)	特に必要な支援はない	
問29	地域活動や社会貢献活動の運営・意思決定の場に，女性の意見が十分に反映されていると思いますか。 ※１つだけ選択	
(1)	十分に反映されていると思う	
(2)	ある程度反映されていると思う	
(3)	あまり反映されていないと思う	
(4)	全く反映されていないと思う	
(5)	わからない	

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】	
問30	防災や災害時の対応において，男女共同参画の視点からどのような対応が必要だと思いますか。 ※3つまで選択	問24	防災や災害時の対応において，男女共同参画の視点からどのような対応が必要だと思いますか。
(1)	自主防災組織や防災会議への女性の参画を促進すること	(1)	自主防災組織への女性の参画を促進すること
		(2)	防災会議に女性の参画を拡大すること
(2)	防災計画へ男女共同参画の視点が入るようにすること	(3)	防災計画へ男女共同参画の視点が入るようにすること
(3)	性別に関わらず，日頃からのコミュニケーション・地 域でのつながりを大切にすること	(4)	性別に関わらず，日頃からのコミュニケーション・地 域でのつながりを大切にすること
(4)	トイレや更衣室の配置など，性別に配慮した避難所運営をすること	(5)	~~男女別のトイレ，更衣室やプライバシーの確保など~~，性別に配慮した避難所運営をすること
(5)	女性のほか，子育て家庭，介護者，障がい者等の視点もふまえ物資を備蓄すること	(6)	男女のニーズに配慮して，物資を備蓄するとともに，子育て家庭，介護者，障がい者等の視点も入れること
(6)	避難所運営において責任者に男女がともに配置されること	(7)	避難所運営で，責任者に男女がともに配置され~~，男女両方の視点が入るようにす~~ること
(7)	わからない	(8)	わからない
(8)	その他	(9)	その他
アンコンシャス・バイアスについて			
問31	次の事柄について，あなたの考えに近いものを選んでください。（「非常にそう思う」～「全くそう思わない」の5段階から〇は１つ）		
	1 「論理的な思考が必要な仕事は，男性の方が向いている」		性別にかかわるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に係る意識を把握するために新規設定する。国のアンコンシャス・バイアスに関する調査を参考に設定。
	2 「感情に配慮したり，細やかな気配りが求められる仕事は，女性の方が向いている」		
	3 「組織のリーダーには，力強く引っ張っていく男性的なリーダーシップが不可欠だ」		
	4 「育児休業を取得するのは主に女性がすべきだ」		
問32	性別に基づいた「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について，あなた自身に当てはまるものを選んでください。　※１つだけ選択		
(1)	自分の言動に，性別による思い込みがないか意識して気を付けている		
(2)	思い込みがあるかもしれないと感じることはあるが，特に対策はしていない		
(3)	あまり意識したことはないが，自分にもあるかもしれないとは思う		
(4)	自分にはそのような思い込みがあるとは思わない		

市民意識調査【R8】（案）		市民意識調査【R3】
問33	あなたは今後も函館市に住み続けたいと思いますか？　※１つだけ選択	
(1)	非常にそう思う	女性が地域から流出する要因を探るため，新規設定する。函館市地方創生に関するアンケート調査を参考に設定。
(2)	ややそう思う	
(3)	あまり思わない	
(4)	思わない	
問34	「あまり思わない」「思わない」と回答した方にお聞きします。理由を以下から選択してください。※３つまで選択	
(1)	買い物が不便	
(2)	市内の移動（市電・バス）が不便	
(3)	市外への移動（飛行機・鉄道等）が不便	
(4)	まち並みが悪い	
(5)	魅力的な職場がない	
(6)	魅力的な進学先がない	
(7)	娯楽・レジャーが楽しめない	
(8)	愛着がない	
(9)	治安が悪い	
(10)	気候が悪い	
(11)	実家がない	
(12)	その他（　　）　※自由記述	
問35	最後に，男女共同参画を進めるにあたって，あなたのご意見やご要望がありましたらお聞かせください。※自由記述	問25　最後に，男女共同参画を進めるにあたって，あなたのご意見やご要望がありましたらお聞かせください。※自由記述

※下記に記載されております「回答用番号」は，インターネット回答との重複を防ぐため，ランダムに振られたものであり，個人を特定するものではありません。

回答用番号 [　　]

①　あなた自身のことについてお聞かせください

以下について，あてはまるものに○をつけてください。（○は各設問ごとに１つ）

Ｆ１　性　別

1　男　性　　2　女　性　　3　男性女性以外の性

※ご自身が認識する性別でお答えください。

Ｆ２　年　齢

1	20歳未満	4	30～34歳	7	45～49歳	10	60～64歳
2	20～24歳	5	35～39歳	8	50～54歳	11	65～69歳
3	25～29歳	6	40～44歳	9	55～59歳	12	70歳以上

Ｆ３　あなたの世帯の構成はどのようになっていますか。

1　単身世帯（ひとり暮らし）
2　一世代世帯（夫婦，事実婚，カップル）
3　二世代世帯（親と子ども）
4　三世代世帯（親と子どもと孫）
5　その他（　　）

Ｆ４　あなたは，現在結婚していますか。

1　結婚している（未婚だがパートナーと暮らしている）
2　離別・死別
３　未婚

Ｆ４で「1　結婚している（未婚だがパートナーと暮らしている）」とお答えの方のみ

Ｆ４-1ご自身および配偶者・パートナーの就労状況は次のどれですか。

1　共働きしている
2　自分だけ働いている
3　配偶者・パートナーだけ働いている
4　どちらも働いていない

Ｆ５　あなたにお子さん（同居，別居を問わず）はいますか.また，一番下のお子さんは，現在，次のどれですか。

1　小学校入学前
2　小学生
3　中学生
4　高校生
5　大学生
6　その他（社会人含む）
7　いない

Ｆ６　　あなたの仕事（職業）は，次のどれですか。

自営業主　家族従業者	1　農林漁業 2　商工・サービス業 （各種の卸・小売店，飲食店，理髪店，ホテル等のサービス業従事者） 3　自由業　（開業医，弁護士，著述業など）
勤め人	4　経営・管理職　（会社・団体・官公庁の管理職） 5　専門・技術職　（教員，研究員，技術者，勤務医など） 6　事務職　（事務系会社員，事務系公務員など） 7　販売・サービス嘱 （各種の卸・小売店，飲食店，理髪店等のサービス業従事者） 8　生産・輸送・建設・労務職 9　その他（具体的に　　）
その他	10　学生 11　家事専業 12　無職 13　その他（具体的に　　）

Ｆ６で「勤め人」とお答えの方にお聞きします。

Ｆ６-１あなたのお仕事は，この中のどれですか。

1　役員
2　正規の職員・従業員
3　非正規の職員・従業員（契約社員，労働者派遣事務所の派遣社員を含む）

②　男女共同参画全般についてお伺いします

【問１】　あなたが男女共同参画に関する次の(1)～(8)の言葉について，聞いたことがありますか。
（それぞれ○は１つ）

	聞いたことがあり，意味も知っている	聞いたことはあるが，意味は知らない	聞いたことがない
(1) 男女共同参画	1	2	3
(2) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
(3) ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）	1	2	3
(4) デートＤＶ	1	2	3
(5) ハラスメント	1	2	3
(6) 性的少数者（ＬＧＢＴＱ）	1	2	3
(7) ジェンダー（社会的・文化的に作られた性別）	1	2	3
(8) アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	1	2	3

(1) 男女共同参画とは，誰もが性別に関わりなく個人として尊重され，社会の対等な構成員として，自らの意思によって，家庭，職場，学校，地域その他社会のあらゆる分野において，その個性と能力を発揮する機会が確保され，均等に利益を享受し，また共に責任を担うことをいいます。
(7) ジェンダーとは，社会的・文化的に形成された性別のことをいいます。
上記以外の言葉の意味については，関連する設問で説明します。

【問２】　あなたは，次の（1）～（8）の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ○は１つ）

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない
(1)　家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2)　職場や就職活動	1	2	3	4	5	6
(3)　学校教育	1	2	3	4	5	6
(4)　自治会やＰＴＡ等の地域活動	1	2	3	4	5	6
(5)　法律や制度	1	2	3	4	5	6
(6)　政治の場	1	2	3	4	5	6
(7)　社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(8)　社会全体	1	2	3	4	5	6

【問３】　「男は仕事，女は家庭」という考えがありますが，あなたはどう思いますか。
（○は１つ）

1	賛成	4	反対
2	どちらかといえば賛成	5	どちらともいえない
3	どちらかといえば反対		

【問４】　あなたは，政治や会社などにおいて，政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について，どのように考えますか。（○は３つまで）

1	男性優位の組織運営になっているから
2	性別による男女の役割分担意識が強いから
3	家庭内での役割（家事・育児・介護など）の分担が偏っているから
4	上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないから
5	育児・介護に関する公的サービスが不十分だから
6	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが不十分だから
7	男性の家事・育児参加を進めるための後押しが不十分だから
8	女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから
9	現時点では，必要な知識や経験を持つ女性が少ないから
10	キャリア形成支援が不十分だから
11	企業などにおいては，管理職になると広域移動が増えるから
12	特に理由はない
13	その他（　　）

③　家庭生活についてお伺いします

【問５】　あなたは，家庭内で次の(1)～(7)にあげる事項についてどの程度たずさわっていますか。
（それぞれ○は１つ）

	いつもしている	時々している	ほとんどしていない	全くしていない
(1)　掃除	1	2	3	4
(2)　洗濯	1	2	3	4
(3)　食事の支度	1	2	3	4
(4)　食事の後片付け	1	2	3	4
(5)　育児	1	2	3	4
(6)　介護	1	2	3	4
(7)　ゴミ出し	1	2	3	4

【問６】　高齢者の介護をする場合の家庭内での分担について，あなたはどう考えますか。（○は１つ）

1	介護は女性が行った方がよい
2	どちらかといえば女性が行った方がよいが，男性も協力した方がよい
3	介護は男性が行った方がよい
4	どちらかといえば男性が行った方がよいが，女性も協力した方がよい
5	男女どちらも同等に介護を分担した方がよい

【問７】　男性が，家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。（○はいくつでも）

1	男性が家事などに参加することについて男性自身の抵抗感をなくす
2	男性が家事などに参加することについて女性の抵抗感をなくす
3	家事などに参加することについての社会的評価を高める
4	性別に関わらず家事などに参加する意識を持たせるような教育をする
5	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
6	家事などに参加することについて，職場における上司や周囲の理解を進める
7	仕事中心の生き方,考え方を改める
8	労働時間短縮や休暇制度を充実させ，利用を促進する
9	家事などについての関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
10	行政機関が講座等を開催し，男性の家事などの技能を高める
11	仕事と生活の両立等の問題について，男性が相談しやすい窓口を設ける
12	特に必要なことはない

【問８】　男性の育児休業や介護休業についてどう思いますか。（○は１つ）

1	男性も積極的に取得すべき
2	男性の取得は賛成だが，現実的には厳しいと思う
3	他に育児・介護を担うものがいない場合は，取得もやむを得ない
4	男性は育児・介護休暇を取得する必要がない，取得すべきではない
5	その他（　　）

④　就業についてお伺いします

【問９】　女性が仕事をもつことについて，あなたはどう思いますか。（○は１つ）

1　結婚や出産に関わらず，仕事を続けた方がよいと思う
2　結婚や出産後は仕事を辞め，育児が一段落した後，再び仕事に就く方がよいと思う
3　結婚を機に仕事を辞め，家事・育児に専念した方がよいと思う
4　女性は仕事に就かない方がよいと思う
5　その他（　　）

【問１０】　女性が仕事を続けていく上で，支障となっているものは何だと思いますか。（○は３つまで）

1　家事・育児・介護との両立が難しい
2　家事・育児・介護への家族の協力が不十分
3　保育施設や老人福祉施設，介護サービスが利用しにくい
4　結婚や出産を契機として退職する慣行がある
5　家族の理解が得られない
6　「男は仕事，女は家庭」という社会通念がある
7　昇進・昇格・給与に男女格差がある
8　転勤や長時間労働がある
9　中高年の女性に対し退職の圧力がある
10　支障になることは特にない
11　その他（　　）

【問１１】　女性が働き続けるためには，今後どのようなことが必要だと思いますか。
（○は３つまで）

1　保育施設などの子育て支援サービスや福祉施設などの介護サービスの充実
2　男性の家事・育児などへの参加
3　働き続けることへの女性自身の意識改革
4　女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
5　労働条件の改善（昇進・昇格等）
6　職場における育児・介護との両立支援制度の充実
7　職場における長時間労働の改善を含めた働き方改革
8　短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
9　結婚，出産退職後の再雇用制度の充実
10　その他（　　）

【問１２】　あなたは，現在または将来，管理職（課長相当職以上）への昇格を希望しますか。
（○は１つ）

1　希望する
2　希望しない
3　すでに管理職である
4　わからない

問１２で「希望しない」と答えた方にお聞きします。

【問１３】　　希望しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　責任が重いから
2　仕事量が増えるから
3　家庭や育児，介護との両立が難しいから
4　自分には向いていないと思うから
5　管理職の仕事に魅力を感じないから
6　勤務時間や働き方の制約があるから
7　その他（　　）

⑤　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

ワーク・ライフ・バランスとは，一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き，仕事上の責任を果たすとともに，家庭や地域生活などにおいても，子育て期，中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる働き方，生き方のこと。

【問１４】　あなたは「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると思いますか。（○は１つ）

1　実現できている
2　どちらかといえば実現できている
3　どちらかといえば実現できていない
4　実現できていない
5　どちらともいえない

問１４で「3　どちらかといえば実現できていない」または「4　実現できていない」と答えた方にお聞きします。

【問１５】　「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていない理由は何だと思いますか。（○は３つまで）

1　長時間労働であるため
2　職場の理解がないため
3　職場に人的な余裕がないため
4　「男は仕事，女は家庭」といった考え方があるため
5　その他（　　）

⑥　ＤＶ・性暴力・ハラスメントについてお伺いします

・ ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）とは，配偶者やパートナーからの身体的・精神的な暴力のことをいいます。
・ デートＤＶとは，交際中のパートナー間でおきるＤＶのことをいいます。
・ ハラスメントとは，相手の意に反する不快な言動，嫌がらせ，いじめなどのことをいいます。

【問１６】　あなたは，次のようなことが配偶者や恋人から行われた場合，ＤＶ，ハラスメントだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1　平手で打つ，足で蹴る
2　身体を傷付ける可能性のある物などで殴る
3　殴るふりをして脅す
4　刃物などを突き付けて脅す
5　相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する
6　妊娠・避妊・中絶を一方的に強要したり禁じる
7　性的な画像・動画・雑誌などを見ることを強要する
8　何を言っても長時間無視し続ける，口をきかない
9　交友関係・外出・携帯電話・SNSなどを細かく監視したり制限する
10　「バカ」「役立たず」など人格を否定するようなことを言う
11　大声でどなる
12　生活費を渡さない，または使途を細かく管理して自由に使えないようにする

【問１７】　ＤＶや性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などについて，あなたが知っているものをあげてください。（○はいくつでも）

1　函館市配偶者暴力相談支援センター（子ども未来部子育て支援課）
2　ウィメンズネット函館（DV・女性・性暴力相談）
3　函館市女性センター（DV・虐待・離婚相談）
4　市民相談（市民部くらし安心課）
5　法テラス（弁護士相談）
6　配偶者暴力相談支援センター（渡島振興局）
7　警察（函館方面本部警察相談センター）
8　みんなの人権110番（函館地方法務局）
9　函館被害者相談室
10　函館家庭生活カウンセラークラブ

【問１８】　ＤＶやデートＤＶについて，あなたは直接経験したり身近で見聞きしたことがありますか。（(1)，(2)について，それぞれ○は１つ）

(1)　自分自身について

1	直接経験したことがある	2	直接経験したことがない

(2)　自分以外の人について

1	見聞きしたことがある	2	見聞きしたことがない

問１８で自分自身が「１　直接経験したことがある」と答えた方にお聞きします。

【問１９】　あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

1	知人・友人	5	警察	9	相談しなかった
2	親族	6	弁護士	10	その他
3	行政の相談機関	7	医師		（　　）
4	民間の相談機関	8	学校関係		

問１９で「9　相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

【問２０】　相談しなかった，できなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	相談するほどのことでもなかったから
2	自分にも悪いところがあると思ったから
3	相談しても無駄だと思ったから
4	自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから
5	他人を巻き込みたくなかったから
6	恥ずかしかったから
7	相手の行為は愛情の表現だと思ったから
8	誰に相談したらよいかわからなかったから
9	相談すると仕返しをされると思ったから
10	世間体が悪いから
11	その他（　　）

【問２１】　あなたはこれまで，下記のハラスメントを直接経験したり，身近で見聞きしたことがありますか。（(1)，(2)について，それぞれ○は１つ）

※1　**セクシュアル・ハラスメント**ー職場などにおける労働者の意に反する性的な言動等により就業環境が害されたり，不利益を受けたりすること。

※2　**妊娠・出産に関するハラスメント**ー妊娠・出産した女性労働者が妊娠・出産に関する上司・同僚からの言動により，就業環境が害されること。

※3　**育児休業・介護休業等に関するハラスメント**ー労働者が育児休業等の利用に関する上司・同僚からの言動により，就業環境が害されること。

※4　**パワーハラスメント**ー職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景とした言動であって，業務の適正な範囲を超えたものにより，従業員の就業環境が害される行為のこと。

(1)　自分自身について

1	直接経験したことがある	2	直接経験したことがない

(2)　自分以外の人について

1	見聞きしたことがある	2	見聞きしたことがない

問２１で自分が直接経験したことがあると答えた方にお聞きします。

【問２２】　あなたは，誰（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

1	知人・友人	4	民間の相談機関	7	弁護士
2	親族	5	職場の相談窓口	8	相談しなかった
3	行政の相談機関	6	警察	9	その他　（　　）

【問２３】　ＤＶ・性暴力・ハラスメントの防止のためには，どのような対策が必要だと考えますか。（○はいくつでも）

1	法律制度の強化
2	相談機関の充実
3	職場の雇用主等の積極的な防止対策
4	ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実
5	加害者に対するカウンセリングの実施
6	その他（　　）

⑦　性的少数者（ＬＧＢＴＱ）についてお伺いします

性的少数者とは，レズビアン，ゲイ，バイセクシュアル，トランスジェンダーなど多様な性的指向（恋愛感情の対象となる性別）や性自認（自分が感じている性別）を持つ人のこと。

【問２４】　現在の社会は，性的少数者の方々にとって，暮らしやすい社会だと思いますか。
（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	どちらかといえばそう思わない
2	どちらかといえばそう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない	6	わからない

問２４で，「４　どちらかといえばそう思わない」または「５　全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。

【問２５】　性的少数者の方々がより自分らしく暮らせる社会にするためにどのような対策が必要だと思いますか。（○は３つまで）

1　行政が市民等へ性的少数者への理解の促進のための周知啓発を行うこと

2　性別にかかわりなく利用できるトイレなどの設備の充実

3　申請書等様式における性別記載欄の削除等見直し

4　学校等の制服について，スカートかズボンかなどを性別に関わらず，選択できるようにすること

5　パートナーシップ制度の導入
※ パートナーシップ制度とは，法律婚ができない同性カップルに対し，自治体が公的にその関係性を認める制度のこと。

6　相談窓口等の充実と周知

7　だれもが働きやすい職場環境づくりの取り組みをすること

8　行政職員や学校教員への性の多様性に関する研修等を行うこと

9　わからない

10　その他（　　）

⑧　地域活動についてお伺いします

【問２６】　現在も含めて今までに，あなたは地域でどのような活動に参加したことがありますか。
（○はいくつでも）

1　自治会や町内会の活動
2　ＰＴＡ活動や青少年指導員等の青少年健全育成活動
3　社会福祉活動
4　防災・防犯活動
5　女性会などの地域団体での活動
6　地域の公的な委員活動（例：保護司，民生委員・児童委員，人権擁護委員，行政相談委員など）
7　地域活動に参加したことがない
8　その他の地域活動（　　）

問２６で，「７　地域活動に参加したことがない」と答えた方にお聞きします。

【問２７】　あなたが参加・活動しなかった理由は何ですか。（○は３つまで）

1　時間がない
2　情報が届かない，募集がわからない
3　自分には向いていない／関心がない
4　体力・健康上の問題
5　報酬や補償がない
6　職場や家族の理解が得られない
7　活動内の閉鎖性・人間関係の問題
8　夜間活動が多く参加しにくい
9　男性中心で入りにくい
10　その他（　　）

【問２８】　あなたは，地域活動や社会貢献活動に参加しやすくなるために，特に重要だと思う条件や支援は何ですか。（○は３つまで）

1　活動中の子どもの一時預かりサービス
2　活動に関する情報提供の充実（SNS，広報等）
3　平日夜間・休日など参加しやすい時間帯の活動
4　オンラインでも参加できる環境の整備
5　活動団体への参加をコーディネートする窓口の設置
6　活動参加者への経済的支援（交通費・謝礼等）
7　特に必要な支援はない
8　その他（　　）

【問２９】　地域活動や社会貢献活動の運営・意思決定の場に，女性の意見が十分に反映されていると思いますか。（○は１つ）

1	十分に反映されていると思う	4	あまり反映されていないと思う
2	ある程度反映されていると思う	5	全く反映されていないと思う
3	どちらともいえない	6	わからない

⑨　男女共同参画の視点からの防災・災害時の対応についてお伺いします

【問３０】　防災や災害時の対応において，男女共同参画の視点からどのような対応が必要だと思いますか。（○は３つまで）

1　自主防災組織や防災会議への女性の参画を促進すること
2　防災計画へ男女共同参画の視点が入るようにすること
3　性別に関わらず，日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること
4　トイレや更衣室の配置など，性別に配慮した避難所運営をすること
5　女性のほか，子育て家庭，介護者，障がい者等の視点もふまえ物資を備蓄すること
6　避難所運営において，責任者に男女がともに配置されること
7　わからない
8　その他（　　）

⑩　アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）についてお伺いします

アンコンシャス・バイアスとは，「無意識の思い込み」や「無意識の偏見」と訳され，何かを見たり，聞いたり，感じたりしたとき等に，無意識に“こうだ”と思い込むこと。

【問３１】　次の事柄について，あなたの考えに近いものを選んでください。

１　「論理的な思考が必要な仕事は，男性の方が向いている」（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	あまりそう思わない
2	そう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない		

２　「感情に配慮したり，細やかな気配りが求められる仕事は，女性の方が向いている」（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	あまりそう思わない
2	そう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない		

３　「組織のリーダーには，力強く引っ張っていく男性的なリーダーシップが不可欠だ」
（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	あまりそう思わない
2	そう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない		

４　「育児休業を取得するのは主に女性がすべきだ」（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	あまりそう思わない
2	そう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない		

【問３２】　性別に基づいた「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について，あなた自身に当てはまるものを選んでください。　（○は１つ）

1	自分の言動に，性別による思い込みがないか意識して気を付けている
2	思い込みがあるかもしれないと感じることはあるが，特に対策はしていない
3	あまり意識したことはないが，自分にもあるかもしれないとは思う
4	自分にそのような思い込みがあるとは，思わない

⑪　函館市への今後の居住意向についてお伺いします

【問３３】　あなたは今後も函館市に積み続けたいと思いますか。（○は１つ）

1	非常にそう思う	4	あまりそう思わない
2	そう思う	5	全くそう思わない
3	どちらともいえない		

問３３で，「4　あまりそう思わない」，「5　全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。

【問３４】　「あまりそう思わない」，「全くそう思わない」理由を以下から選択してください。（○は３つまで）

1	買い物が不便	7	娯楽・レジャーが楽しめない
2	市内の移動（市電・バス）が不便	8	愛着がない
3	市外への移動（飛行機・鉄道等）が不便	9	治安が悪い
4	まち並みが悪い	10	気候が悪い
5	魅力的な職場がない	11	実家がない
6	魅力的な進学先がない	12	その他（　　）

⑫　男女共同参画行政についてお伺いします

【問３５】　最後に，男女共同参画を進めるにあたって，あなたのご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

アンケートにご協力いただき，ありがとうございました。